

授業科目名 (英文名)	専門基礎演習 (Second-year Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	伊藤 国彦	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	この演習の目的は、日本経済について学ぶことと3年次からの研究演習の準備をすることである。到達目標は、以下の三点である。第一に、経済学の文献を輪読および討論することによって、日本経済と経済学の幅広い知識を習得すること。第二に、レジメの作成と報告の仕方を身に付けること。第三に、卒業論文の作成に必要なスキルを身に付けること。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>前期は、日本経済全般を対象としているテキストを輪読する。毎回、報告者を決めてレジメを作成し、報告してもらい、論点をみんなで討論する。特に、日本経済が直面している問題を学び、問題の解決のためにどうするかを問う。</p> <p>後期は、前期の輪読を続けるとともに、卒業論文作成のスキルについても学ぶ。具体的には、A4で5枚程度のレポートを作成する。レポートの作成作業は、使用しているテキストからテーマを設定し、論点を明確にした上で分析・検討することである。後期の授業内容にはレポートを作成するに当たって当然身に付けておくべきレポートや論文の書き方も含まれる。また、時間的に可能であれば、レポートを書いて提出するだけでなく、ゼミの最後にレポートに関するプレゼンテーションをしよう。</p> <p>講義計画</p> <p>1 - 2 . 日本経済の全体像 3 - 4 . 日本の経済成長 5 - 6 . 日本の景気循環 7 - 8 . 日本の雇用 9 - 10 . 日本の産業構造の変化 11 - 12 . 日本の物価 13 - 14 . 貿易と国際収支 15 - 16 . 円レートの変動 17 - 18 . 財政めぐる諸問題 19 - 20 . 格差問題 21 - 22 . 社会保障問題 23 - 24 . 地域振興 25 - 27 . 作成するレポートに関する報告 28 . 提出レポートのパワーポイント作成 29 - 30 . パワーポイントでのレポートのプレゼンテーション</p>		
テキスト	小峰隆夫・村田啓子著、『最新 日本経済入門 [第5版]』, 日本評論社, 2016年・生協書籍部で購入する。		
参考文献	授業の中で紹介したり、図書館で調べたりする。		
成績評価の基準・方法	出席・報告などゼミへの参加姿勢60点とレポート40点の合計100点で評価する。到達目標にあげた3つの点の達成度に応じてSからCで評価する。		
履修上の注意・履修要件	報告者以外も、必ず予習してくること。 2年次の秋に決める研究演習で、どの分野を選ぶかを判断できるようになるために、自分の担当以外の箇所もしっかりととりくむこと。		
実践的教育			
備考	日本経済や世界経済のニュースに関心もつ。		